

別紙 1 医療情報システム要求仕様書

要求仕様								必須
17							インシデント管理システム	
17	1						機能	
17	1	1					報告書一覧表示	
17	1	1	1				報告書一覧画面には、ログオン者に通知された報告（管理者より情報共有された報告・改善対策等）を、一覧形式で表示できること。	○
17	1	1	2				報告書一覧では、項目の昇順・降順で並び替えできること。	○
17	1	1	3				一事例に対して複数の報告書が登録されている場合、統合処理ができること。	○
17	1	1	4				情報共有された報告書の閲覧状況は経過管理よりファイル形式による出力ができること。	○
17	1	2					ダッシュボード	
17	1	2	1				報告書の新着・更新件数、完了件数を表示することができ、リンクをクリックすることで該当する報告書を確認することができること。	○
17	1	2	2				医療の質・安全管理センターからのお知らせに周知事項を表示できること。	○
17	1	2	3				統計分析でパターン登録された指標や件数の集計結果を、指標機能の一覧に表示できること。	○
17	1	3					インシデント・アクシデント報告	
17	1	3	1				選択項目は日本医療機能評価機構最新版に対応できること。	○
17	1	3	2				入力画面の項目は任意に追加、変更できること。	○
17	1	3	3				各入力項目は必要に応じて必須入力項目の設定ができ、漏れがあった場合には注意喚起ができること。	○
17	1	3	4				記述欄に対して、項目ごとに最大入力文字数の制限を設定できること。	○
17	1	3	5				患者ID入力項目等のテキスト入力時は「半角数字」「半角カナ」の入力制限を設定できること。	○
17	1	3	6				各入力画面は排他制御を行っていること。	○
17	1	3	7				入力途中で仮登録ができること。仮登録後は報告書一覧に表示され、前回仮登録保存時のデータから入力再開できること。 また、報告者以外でも権限設定により訂正・削除ができること。	○
17	1	3	8				インシデント報告の場合は簡易入力とし、アクシデント報告の場合は詳細入力とする等、入力項目内容を自動的に変更できること。	○
17	1	3	9				入力画面の所属が異なる場合、報告者自身による簡便な操作で変更ができること。変更された所属の報告ルートで関係者に自動的に通知できること。	○
17	1	3	10				登録前に入力した内容を一覧で表示できること。	○
17	1	3	11				報告書に添付ファイルを登録できること。	○
17	1	3	12				職員が報告書を登録した時点で入力されている所属の現場リスクマネージャーと医療安全管理者へ同時に報告できること。	○
17	1	3	13				チーム医療通知機能として事前に設定した条件に合致した報告は従来の通知先である現場リスクマネージャーと医療安全管理者以外の指定した職員へ通知できること。	○
17	1	3	14				通知された報告書について通知先の職員とコメント欄を利用して意見のやりとりができること。	○

別紙 1 医療情報システム要求仕様書

要求仕様							必須
17	1	3	15			登録した内容または訂正履歴を時系列に表示できること。但し、マスタ保守画面は除く。	○
17	1	3	16			登録済みデータの参照・訂正・削除ができること。	○
17	1	3	17			登録した内容はファイル形式で出力ができること。	○
17	1	3	18			報告定義ごとにインシデント番号を設定できること。	○
17	1	3	19			年度毎・月毎に頭文字を設定したインシデント番号を自動設定できること。	○
17	1	4				報告書経過管理	
17	1	4	1			以下の内容を確認できること。	
17	1	4	2			・通知先職員の氏名、所属部門	○
17	1	4	3			・確認状況、閲覧日時等	○
17	1	4	4			一覧の内容をファイル形式による出力ができること。	○
17	1	5				経過報告書	
17	1	5	1			登録した報告書のその後の経過情報を登録できること。	○
17	1	5	2			登録した経過報告書はファイル形式による出力ができること。	○
17	1	6				管理者記載欄	
17	1	6	1			登録された報告書に対して、管理者権限を持つ職員が評価項目等の入力・閲覧ができる管理者記載欄機能を有すること。	○
17	1	6	2			1報告書に1つの管理者記載欄の登録ができること。	○
17	1	6	3			入力画面の項目は任意に追加、変更できること。	○
17	1	6	4			入力途中で仮登録ができること。	○
17	1	6	5			管理者記載欄で登録したデータは専用画面で検索できること。	○
17	1	6	6			報告書一覧画面で、管理者記載欄の登録情報や管理者記載欄の完了日を確認できること。	○
17	1	7				報告書院内情報共有	
17	1	7	1			医療安全管理者の判断で報告書共有できること。	○
17	1	7	2			医療安全管理者は、報告書の共有先を自由に選択できること。	○
17	1	7	3			共有時に重要事例を設定でき報告書一覧画面で視覚的に分かりやすく表示できること。	○
17	1	7	4			個人情報として設定された項目は他職員へ公開時に非表示にできること。	○
17	1	7	5			一度情報共有した報告を一括で非公開にできること。	○
17	1	8				完了処理	
17	1	8	1			登録された報告書毎に情報共有先を選択、または非公開を選択し完了処理ができること。	○
17	1	8	2			登録された報告書を複数選択し、一括での完了処理もできること。	○
17	1	9				統計機能	
17	1	9	1			集計時に縦軸/横軸の設定ができること。 縦軸は最大3軸まで設定できること。	○
17	1	9	2			条件の絞り込みができること。 絞り込みは最大4つまで設定できること。	○
17	1	9	3			頻度の高い条件パターンは、パターン登録を行っておき、パターン選択で条件の設定ができること。また、パターン登録したもので一括出力できること。	○
17	1	9	4			集計結果はファイル形式による出力ができること。	○

別紙 1 医療情報システム要求仕様書

要求仕様							必須
17	1	9	5			集計結果を出力しグラフ表示できること。	○
17	1	9	6			下記の集計結果はファイル形式による出力ができること。	
17	1	10				統計分析	
17	1	10	1			統計分析は一定期間の報告書件数または指標で集計できること。	○
17	1	10	2			指標の分子情報は集計軸で選択可能なこと。	○
17	1	10	3			各指標に対する基準値を入力できること。	○
17	1	10	4			指標の場合、ファイル形式による出力時に指標と基準値を同時にグラフ表示できること。	○
17	1	10	5			統計分析画面の集計結果に該当する報告書を統計分析画面から参照できること。	○
17	1	10	6			集計条件はパターン登録できること。	○
17	1	11				利用状況	
17	1	11	1			システム利用状況を確認できること。	○
17	1	12				検索機能	
17	1	12	1			検索画面内の複数の条件項目の組み合わせで検索条件を指定できること。	○
17	1	12	2			検索条件を指定後、検索結果一覧を表示することなく直接ファイル出力できること。 但し、検索結果一覧をExcel出力可能な画面に限る。	○
17	1	12	3			検索画面毎に頻度の高い検索条件パターンは、パターン登録を行っておき、パターン選択で条件を設定できること。	○
17	1	12	4			検索画面毎に検索結果一覧の表示項目と項目の表示順を設定できること。	○
17	1	12	5			検索結果一覧より対象データを選択し、各種入力画面が開くこと。	○
17	1	12	6			検索結果一覧はファイル形式による出力ができること。	○
17	1	13				改善対策作成・管理	
17	1	13	1			医療の質・安全管理センターの指示や各部署で改善対策を策定し、医療安全管理者の確認・指導を受けることができること。	○
17	1	13	2			RCA・4M5E・SHEL・KYT・VTA・FMEA等の複数分析手法が入力できること。	○
17	1	13	3			RCAでは出来事流れ図・因果関係図・改善対策検討図・改善対策・評価の5つの画面を入力できること。また評価以外のどの画面からでも入力を開始できること。	○
17	1	13	4			4M5Eでは4M5Eシート・改善対策・評価の3つの画面を入力できること。また評価以外のどの画面からでも入力を開始できること。	○
17	1	13	5			SHELではSHELシート・改善対策・評価の3つの画面を入力できること。また評価以外のどの画面からでも入力を開始できること。	○
17	1	13	6			KYTではインシデントKYTシート・改善対策・評価の3つの画面を入力できること。また評価以外のどの画面からでも入力を開始できること。	○
17	1	13	7			VTAでは時系列事象関連図・因果関係図・改善対策検討図・改善対策・評価の5つの画面を入力できること。また評価以外のどの画面からでも入力を開始できること。	○

別紙 1 医療情報システム要求仕様書

要求仕様							必須
17	1	13	8			FMEAでは失敗モード列挙・優先順位決定・改善対策検討・改善対策・評価の5つの画面を入力できること。また評価以外のどの画面からでも入力を開始できること。	○
17	1	13	9			各画面において、関連するデータを連動させながら入力できること。	○
17	1	13	10			各画面において、ファイル形式による出力ができること。	○
17	1	13	11			改善対策は評価予定開始（終了）日・評価開始（終了）日・評価者等を設定できること。	○
17	1	13	12			登録した改善対策は関係部署へ通知できること。	○
17	1	13	13			通知された改善対策について通知先の職員とコメント欄を利用して意見のやりとりができること。	○
17	1	13	14			登録した改善対策は通知先を指定して職員へ情報公開できること。	○
17	1	13	15			登録した改善対策や通知、情報公開された改善対策は検索できること。検索結果はファイル形式による出力ができること。	○
17	1	14				日本医療機能評価機構への報告データ作成機能	
17	1	14	1			2010年からの新報告体制に準じ、ヒヤリ・ハット事例と医療事故情報のデータ書式をXMLファイル形式で作成でき、発生件数報告も集計できること。	○
17	1	15				医療情報システムとの連携	
17	1	15	1			医療情報システムにログインした状態から、パラメーターを受け取ることに より、ID、パスワードの入力なしでシステムメニューを表示できること。 (シングルサインオン)	○
17	1	15	2			医療情報システムと、職員情報（氏名、所属、ID、パスワード、等）、患者 情報（氏名、性別、年齢、ID、等）を連携できること。	○
17	1	16				コンサルテーション	
17	1	16	1			連絡事項をやり取りできること。	○
17	1	16	2			届いた連絡事項は検索画面で検索できること。	○
17	1	17				掲示板	
17	1	17	1			情報共有のために、医療機関で作成したファイル等を掲示できること。	○
17	1	17	2			掲載期限を設定できること。	○
17	1	17	3			文書ごとに閲覧状況（既読・未読）を確認できること。	○
17	1	17	4			掲示内容について、コメントの登録ができること。	○
17	1	18				ポップアップ通知機能	
17	1	18	1			医療情報システムにログイン時、特定条件に該当する情報が登録された場 合、端末（医療情報システム端末タスクバー通知領域）上にポップアップで お知らせができること。	○
17	1	19				患者相談報告	
17	1	19	1			患者相談報告ができること。報告ルートはインシデント、アクシデントとは 別に設定できること。	○
17	1	20				E-ラーニング	
17	1	20	1			教材は、SCO+I117:I129RM規格に対応したコンテンツや医療機関で作成 したファイルや動画等を登録できること。（但し、avi、wmv、mp4 （H.264以外）形式のファイルは除く。）	○
17	1	20	2			権限により教材の搭載、対象受講者等の教材の設定、受講対象職員の受講状 況検索ができること。	○

別紙 1 医療情報システム要求仕様書

要求仕様							必須
17	1	20	3			教材単位に受講開始日と受講終了日を設定し自動配信できること。	○
17	1	20	4			教材を受講できる最大人数や時刻帯などの配信制限ができること。	○
17	1	20	5			医療機関独自のテスト・アンケートを作成できること。	○
17	1	20	6			テストは合格基準点と配点を設定でき、合格・不合格を確認できること。	○
17	1	20	7			作成したテスト・アンケートは集計できること。	○
17	1	20	8			教材はフォルダ毎に管理する事ができること。	○
17	1	20	9			第一階層のフォルダに管理者を設定することができ、設定された管理者はフォルダ内の教材の編集や受講状況等を確認できること。	○
17	1	20	10			教材に関連する資料等をライブラリとして登録できること。	○
17	1	20	11			集合研修の出席者データをe-Learningシステムに取込み管理できること。	○
17	1	20	12			取込んだ出席者データを元に出席者（欠席者）へのみテスト・アンケートの配信や、フォロー教材を配信できること。	○